

1 研究テーマ

確かな学力を育む「分かる・できる」「楽しい」国語科授業づくり
～言葉の力を育み自ら学び続ける生徒の育成をめざして～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所	講演者	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
6/6	21	嘉島中	8/19	益城中	小田和也 教諭	9/29	清和中	丹生あや 教諭	1/26	木山中	阪西春奈 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

上益城郡教科等研究全体研究のテーマ「児童生徒一人ひとりが輝く『分かる・できる』『楽しい』授業づくり」を受け、国語部会では令和4年度研究テーマ「確かな学力を育む『分かる・できる』『楽しい』国語科授業づくり～言葉の力を育み自ら学び続ける生徒の育成をめざして～」と設定した。国語はすべての教科の基礎となるものである。そこで、自己調整を図りながら言葉と向き合う授業づくりをおこなっていきたく考えた。

① 組織づくり

第1回目研究会では、昨年度の実践を踏まえ研究テーマの設定を行った。

さらに全員が教材研究や学びがあるようにと部会を「1年生部会」「2年生部会」に分けた。

② 夏季研修

夏の研修では、真和中学校の小田和也教諭に「学習指導要領を見据えた授業の在り方について」の講話をいただいた。

研修では、問題解決の仕方を中心にお話をいただいた。

(2) 成果と課題

① 成果

- ・教科書教材を活用した教材研究ができた。
- ・子どもの興味関心を引く導入ができた。
- ・自分の意見を可視化することができた。

② 課題

- ・授業のまとめを教師と生徒が共有すること。
- ・評価基準を持って授業にあたること。
- ・授業の時間配分。



4 実践事例

(1) 授業の概要

○1年生部会（東京書籍「新しい国語1」「根拠を明確にして書こう」～「写真」の意見文～）

① 授業者自評から

- ・B評価とA評価が曖昧で、どこまでをB評価にしたらいかが迷いがあった。
- ・意見文を自作したがどうだったか。
- ・子どもたちが一生懸命に考えてくれた。

② 質疑応答

- ・「事実」と「考え」で根拠としたのか。

→子どもたちは「根拠」といっても「理由」を書いていた。そこで、今回は「根拠」とは何かを説明し「事実」・「考え」この二つを合わせたものとした。

- ・グループで「みせかけの根拠」ではないかお互いに見せ合ったが、その時に意見が出ない場合

はどのような声かけをおこなうのか。

→今回は、子どもたちはよく話し合っていたが、意見が出ない場合には前時で学んだ「みせかけの根拠」について教科書やノートを見せながら声かけをしたい。

・子どもたちに写真A・Bが示され、自分たちで選んでいたが、偏りはなかったのか。また、写真を選んだ理由はどのようなものだったのか。

→写真を選ぶ場合に偏りはなかった。選んだ理由としては、被写体の大きさやクライマックスの部分が写っていたからなどがあつた。

③ 研究協議から

- ・導入で一問一答の質問がテンポよく示されているのがよかった。
- ・教師が自作した写真や文章が地域素材を扱っていたのでよかった。
- ・自分の考えを書けない子どもがいたのでその手立てが必要であつた。
- ・班での話し合いが口頭のみであつたので紙やタブレットなどを使い、視覚化し残すことも大切。

○2年生部会（東京書籍「新しい国語2」「話し合いで問題を検討しよう ～リンクマップによる話し合い～」

④ 授業者自評

- ・意見をまとめあげる部分を授業にした。
- ・テーマ「中学生に携帯電話は必要か」の班は、デメリットよりもメリットを優先しがちだつた。そこで、「多様な立場や意見」を意識させようとしたが、難しかった。
- ・時間通りにまとめるための手立てが難しかった。

⑤ 質疑応答

・「多様な立場や意見」を想定した発言や姿をどのように想定していたのか。また生徒が最後に書いた振り返りにはどのようなことが書かれていたか。

→自分事としてではなく「親も助かるね」「先輩もうれしい」「地域の人にも分かりやすい」などが「多様」と考えていた。振り返りでは、「メリット・デメリットを考えながら自分の意見を書けた。」「他の人と違う意見が参考になった。」などがあつた。

・子どもたちがすばらしいリンクマップを完成させていたので、どのような手立てをしていたのか。

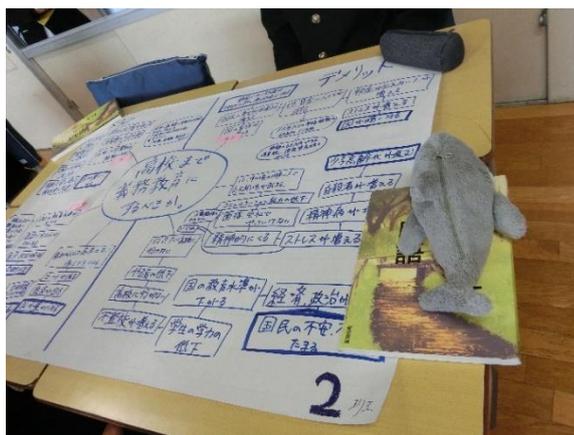
→メリット・デメリットを出し合つて子どもたちが決めていった。教師が少し質問をするとそこからどんどんつなげていった。

⑥ 研究協議から

- ・生徒の学びの姿がすばらしい。話す・聞く姿勢がすばらしい。
- ・付箋で個人の重視する考えを可視化したのはよかった。
- ・動画の導入・リンクマップの完成によって話し合いがスムーズであつた。

・話し合いの基準を子どもたちと共有しておけばさらに、その後の振り返りで達成感につながつたのではないか。

・最初にリンクマップで自分の意見を付箋で示したが、それが考えの固定化につながつたのではないか。「多様な考え」を出すには付箋を「親」「地域」などに分けて貼らせてもよかったのではないか。



(2) 学習構想案

① 1年生部会（東京書籍「新しい国語1」「根拠を明確にして書こう」～「写真」の意見文～）

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)	備考
せ	10	1 前時までの学びを確認し、本時のめあてを知る。 ◇ それぞれの写真から読み取れる事実を確認しました。	○ 単元のゴールを確認し、本時のめあてを設定する。	電子黒板
【めあて・学習課題】事実から考えを導き、説得力のある意見文を書くことができ				
い	10	2 事実から考えを導き、それを根拠とすることを確認し、考えをまとめる。 ◇ 「文楽館の人に教えてもらっている」から「文楽講座の意義が伝わる」と思います。	(見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け) ○ 「事実」と「考え」を区別して考えさせる。 ○ 「考え」には、写真の役割や効果、記事からの引用を含めることができることを確認する。	ロイロノート ワークシート
わ	25	3 グループで考えを交流し、「みせかけの根拠」ではないかを確認する。 ◇ きちんと事実から考えを導いているね。 ◇ 説得力のある根拠になっている。 4 意見文を書く。 ● 【期待される学びの姿】 ● 自分の考えに説得力を持たせるために、事実に基づいた考えを根拠として意見文を書いている姿。	(言語活動の設定及び設定の意図) ○ 意見を支える根拠であるかどうか、根拠の形をしていても根拠になっていない場合はないかを確認させる。 【具体の評価規準】【知①】 ○ 事実に基づいた考えを書いている。 (方法：ワークシート) 【到達していない生徒への手立て】 机間指導において、前時のワークシートを活用しながら助言する。 ○ 「段落の構成」と「根拠の示し方」についてポイントを提示しておく。 【具体の評価規準】【思①・②】 ○ 分析した結果から必要な情報を選び、根拠を明確にして意見文を書いている。 (方法：ワークシート)	ワークシート
こ	5	5 本時の学習を振り返る。	○ 本時の学びを振り返るとともに、次時の学習への見通しを持たせる。	ワークシート
【まとめ】説得力のある意見文を書くためには（ ※ ）とよい。				

② 2年生部会（東京書籍「新しい国語2」「話し合いで問題を検討しよう ～リンクマップによる話し合い～）

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	10分	<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="368 432 1345 524" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> テーマについてメリット・デメリットを吟味し、班の意見をまとめることができる。 </div> <div data-bbox="357 551 860 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【学習課題】 メリットとデメリットの中で、どの意見が重要だろうか。 </div>	<p>○前時に吟味した内容を確認して取り組む。</p>
展開	35分	<p>2 リンクマップを見ながら話し合い、検討する。</p> <p>(1) テーマのメリット、デメリットについて各自で考え、自分の考えをもつ。 ◇「中学生に携帯電話は必要か」のメリットは、 「何でも便利に使えるところ」でデメリットは、「トラブル(犯罪)に巻き込まれやすい」</p> <p>(2) それぞれの考えを班で伝える。 付箋紙をリンクマップに貼りながら、自分の考えを伝える。</p> <p>(3) お互いの意見に対して質問などをしながら、意見を出し合う。 メリット・デメリットの生じる可能性や、その影響の範囲や、深刻度などの観点を意識する。</p> <p>(4) メリット、デメリットのどちらが重要か比較する。 メリット・デメリットの価値を比べ、グループでどういう価値を大切にするか決めさせる。</p> <p>3 グループの意見をまとめ、交流する。</p> <div data-bbox="282 1704 927 1861" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 「中学生に携帯電話は必要か」というテーマについて、私たちの班は「反対」だ。なぜなら「トラブルに巻き込まれやすく危険だ」ということが分かったからだ。 </div>	<p>○付箋紙に名前を書き、リンクマップの重要だと思ふ意見に貼らせる。 ○自分の考えの根拠も併せて伝えさせる。</p> <p>○「質問する・反論する」で学習したことを生かして取り組ませる。</p> <div data-bbox="954 1211 1497 1420" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【具体的評価規準】思② 自分たちで作ったリンクマップをもとに、お互いの意見の共通点や相違点をふまえ、重要性について話し合いを進めている。 (方法:リンクマップ、観察) </div> <p>【到達していない生徒への手立て】 ○教師と一緒にリンクマップを見て、納得できるところや疑問点や質問を考えることができる。 ○意見の根拠となる事実やデータを調べさせ裏付けをする。 ○お互いの立場や意見を尊重しながら、結論をまとめようとしている。 ○意見を文章にまとめやすくするために、まとめ方を提示する。</p>
終末	5分	<p>4 話し合いの仕方や内容を振り返る。</p> <p>5 自己評価を行い、学習の感想を書く。</p>	<p>○与えられた視点を踏まえて、個人で振り返る。</p>